

令和4年度宮崎県献血推進協議会議事概要

1 概要

令和4年度献血推進状況及び令和5年度献血推進計画（案）について、献血推進協議会委員に意見を求め、今後の献血推進事業の参考とするため、宮崎県献血推進協議会運営要綱に基づき協議会を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、令和4年度宮崎県献血推進協議会は書面協議とした。

2 委員等

資料1のとおり

3 協議内容

書面協議により各委員より出た意見及びそれに対する事務局（幹事）の意見等は以下のとおり。

なお、令和5年度宮崎県献血推進計画については、確定後改めて各委員へ送付する。

(1) 令和4年度献血事業推進状況（資料1 1～6ページ）

委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染の中、98.0%の達成率が見込まれており、各関係者の御尽力の結果と思われる。・コロナ禍のという意味では達成率98.0%はいい方ではないか。・目標にはわずかに及ばないが、コロナ禍においては仕方ない事ではないか。献血現場は、いつも温かな雰囲気がある。大人が若い方へ献血の大切さを伝えることが義務だと思っている。・コロナ禍3年目における活動で、献血量は年々減少しており、1年間を通して適正在庫が確保できない状況があったことを理解した。 5月以降、コロナが5類感染症と位置付けられた後の、各種イベントの開催や献血バスの派遣が計画的に実施されることでの献血量増加を期待する。
事務局（幹事）意見	<ul style="list-style-type: none">・5類感染症に位置づけられた後も、当面の間は新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられるが、可能な限りイベントの開催や配車計画に沿った献血バスの派遣を行ってまいります。
委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none">・事業推進状況の中に新型コロナウイルス感染症の影響についての記載があり、確かに、令和4年度において新型コロナウイルス感染症の

事務局（幹事） 意見	<p>影響は大きかっただろうと思う。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行には波があり、波が高い時（感染者が多かった時）と低い時（感染者が少なかった時）とで献血および血液製剤の需要と供給のバランスはいかがだったか。</p> <p>・輸血用血液製剤には赤血球製剤、血漿製剤及び血小板製剤がある中で、400mL 献血の採血と赤血球製剤の供給の計画に対する達成率で比較したとき、波が高い時を第7波（7～8月）・第8波（12～1月）とし、1月までの県の状況を下の表にまとめました。コロナ感染の波が高い時も低い時も需給バランスが取れているとは言えない状況であり、コロナ感染の波よりも、供給が増えた月の翌月で採血が増えるという後追いになっている状況でありました。</p>										
	(%)										
	月	4月	5月	6月	<u>7月</u>	<u>8月</u>	9月	10月	11月	<u>12月</u>	<u>1月</u>
	採血	99.8	94.5	113.9	<u>89.5</u>	<u>100.4</u>	92.3	106.9	94.8	<u>101.0</u>	<u>96.8</u>
	供給	92.1	108.7	98.8	<u>100.7</u>	<u>98.4</u>	102.2	99.8	101.1	<u>105.6</u>	<u>94.4</u>

(2) 令和5年度献血推進計画（案）（資料1 7～10ページ）

委員からの意見等	<p>・令和4年度献血事業推進状況において質問しているが、献血および血液製剤の需要と供給のバランスはいかがだったか。プレスリリース後は献血者が増加したとあるが、事前にこの需要・供給バランスが把握できるようであれば、プレスリリース等の献血への呼びかけ時期の最適化ができるのではないかと考える。</p> <p>令和5年5月以降、新型コロナウイルス感染症が5類感染症の扱いとなる。それを考慮した新たな献血推進計画の策定をされているか。</p>
事務局（幹事） 意見	<p>・「(1) 令和4年度献血事業推進状況」で月毎の表を示しておりますが、1月までの実績で、供給は計画比 100.1%とほぼ予測どおりとなっておりますが、採血は 99.0%と計画を下回っております。供給につきましては、過去3年間の供給実績と直近の状況を勘案し、2ヶ月先の計画を作成しており、上記のように計画との乖離はほぼ無い状況であります。</p> <p>本来であれば、その供給予測に従い、献血バスの配車台数を決めていたため、安定的に血液を確保できるはずであります。献血ルームや献血バスでの1日あたりの確保数が計画を下回ることが続くと、プレスリリース等での呼びかけに頼ることになり、「(1) 令和4年度献</p>

委員からの意見等	<p>血事業推進状況」の意見のように後追いで採血が増えることになり ます。</p> <p>今回の御意見を参考に、供給予測が高いと見込まれる月に対するプ レスリリースのタイミングを図り、後追いではなく、リアルタイムで 確保できるかどうかを検討したいと考えております。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症になりましても、上 記のことから大きな影響はないものと考えられますが、今後とも献血 者の推移を注視して参りたいと考えております。</p>
事務局（幹事） 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・赤血球製剤の適正在庫について、令和3年度に比べ令和4年度は下 回っている月が見られた。さらなる献血者の確保をお願いしたい。 献血バスについては、運行が厳しい状況もあるだろうが、県民全体、 若年層への普及啓発の面もあるため、可能な限り運行活用をお願いし たい。
委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した令和5年度宮崎縣市町村月別配車計画を基に移動献血バス を配車予定であります。新型コロナウイルス感染症の状況の他、台 風等の自然災害による配車延期やキャンセルの場合においても、大型 ショッピングモールへの振替え等、可能な限り配車数及び献血者数を 確保できるように対応を検討したいと考えております。
事務局（幹事） 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血血液不足のアナウンスとともに、「ラブラッド」会員、LINE 公 式アカウントのメリットを強調したプレスリリースを頻回に行う。 ・献血者の確保が厳しい状況下においては、特に少しでも多くの方の 目に触れることがより効果的であると考え、御意見をもとに数 多くの媒体を用いた情報発信について検討してまいります。

(3) その他血液事業に関する意見等

委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・献血でもらえる謝礼の増額は可能か。そのための血液事業の経営状 況はどうなっているか。
事務局（幹事） 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・献血協力後に献血者にお渡ししているお礼の品（処遇品）のことで と理解しますが、献血は健康な人が自らの血液を無償で提供するボラ ンティアであることから、その予算については有償採血とならないよ う制限されております。増額は厳しいですが、献血者に少しでも喜ん

<p>委員からの意見等</p>	<p>でもらえる処遇品を今後とも検討してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学校行事で少しだけ献血の話をしている。18歳になったら、自分の血液を病気の人や交通事故のけがなどで出血が多い人に輸血をする事、献血した血液で助かる命がある事を話す。小さい頃から食の大切さを教えて丈夫な身体の大人になってほしいと伝えている。
<p>事務局（幹事）意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い時から、献血の大切さを伝えていくことは将来の献血者確保に有益だと考えます。血液センターでは小・中学生用の献血啓発資材を作成していることから、資材の提供や職員の派遣等も含め、是非ご相談いただければと思います。
<p>委員からの意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラブラッド」の啓発をもっとするといいいのではないか。
<p>事務局（幹事）意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラブラッド」は献血者へのメリットがあることから、今後もあらゆる機会を通じて啓発活動を行ってまいります。